



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

94.4.1 No. 3971

動労千葉 (4.9千葉) x (4.24東京) x (5.1大阪)

結成15周年記念集会へ

全国にはばたく

血と汗で築いた
俺たちの動労千葉

全国を席巻し共感を得た国鉄集会

動労千葉は、この九四年三月末を以て、結成十五周年を迎えた。昨年の第二〇回定期大会において確認された、「全国にはばたく」の合い言葉の下、この間、北は北海道・札幌から、南は九州・福岡まで全国二九箇所を席巻し、各地において国鉄集会を開催してきた。今後開催を予定している所を含めれば、計三四箇所へのぼるなど、日本労働運動総体の中で単に千葉という地方組織から、いよいよ労働運動そのものの在り方を問うものとして、全国規模へと脱皮し、撃つてでるその質的向上を果たす碑を築いたと言える。

「全国にはばたく」結成十五周年

とりわけ結成十五周年記念行事となる、①、四月九日(土)千葉・労働者福祉センター、②、四月二四日(日)東京・神田パンセ、③、五月一日(日)大阪と続く、記念集会・レセプションの持つ意義は図り知れないものがある。これはまさに、動労千葉が「全国にはばたく」意味からいっても日本の最大中心都市を縦断し、その基盤橋頭堡を確保することに匹敵する。

解雇撤回・原職奪還の基本路線が

「大量失業時代」を切り拓く!

闘いのコンセプトは明確なものがある。それは何よりも動労千葉が、「解雇撤回」の闘いの基本的路線を守り抜いていることにある。「国鉄分割・民営化」の本質を暴ききった一波・二波の闘い。そして政府・国鉄・JRを通じた国家的不当労働行為を糾弾し続ける清算事業団闘争。この闘いの帰趨こそが、今日の「大量失業時代」大量首切り攻撃に対し、唯一とも言うていい、全労働者階級が進べき闘いの道がある。

図式の根は、「国鉄分割・民営化」反対の旗を掲げて降ろさないうことに尽きる。

ここを大本にして、動労千葉は解雇者・JR本隊の闘いの合同を作り出してきた。

そして職場生産点を基軸に、動労千葉の結成理念である、闘う動労の再建・反合・運転保安確立の闘いを脈々と培ってきた。さらには反戦・政治闘争を闘える労働運動を、「車の両輪」である三里塚・芝山連合空港反対同盟の闘いに学びながら、「労組交流センター」の仲間と共に明確な形で志向して

きた。それが今日の状況へ新たな十万人首切り攻撃と、PKOをテコとした軍事大国化攻撃の中、真価を発揮する時が来ている。

闘いの新世界へと踏み出そう!

動労千葉十五年の軌跡は、ある意味では日本労働運動の歴史の中では、「奇跡」とも称されるものかもしれない。しかしながらこの軌跡をさらに拡大・発展させる、「全国にはばたく」ことが確たる地歩を築く先にこそ、「連合」を一掃する、日本労働運動の新たな世紀を拓く、闘う一大勢力が誕生すると確信する。全組合員は四・九(四・二四)五・一と開催される、結成十五周年記念行事へと結集しよう!

この十五年間の闘いの一切の蓄積を、新たな闘いへと踏み出す原点として確認しよう!



3.27 九の名結集、石川を激戦



労働者福祉センター (13時) 講演 (15時) セミナール



訂正
昨日の目録三九七〇号(三月三十一日付け)の本文三段目の一三行目、
誤
このことは、明らかに四月に施行をにらみ、業務の一層の効率化や
正
このことは、明らかに四月に施行される労働基準法改悪をにらみ、業務の一層の効率化や
以上のような誤りでしたので訂正いたします。